

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

# 福岡まさき

平成28年10月「無所属の会」事務局 発行

九月議会報告



## このままで市民の「健康福祉と保険財政」は守れるか！

### 健診率が30パーセントでは…

・豊中市国保の特定健診率は約30%で長期低迷しています。早期発見と治療が市民の幸せ実現につながります。手遅れになってからではご本人の苦しみと保健会計に大きな負担となることから市では健診率向上に取り組んでいます。市民の皆様のご協力が大切です。

### 2025年問題は目前に迫っている

・団塊世代全員が75歳以上になる超高齢化社会は目前に迫っています。市は市民の健康寿命を延ばし認知症予防にも積極的に取り組んできていますが、絶対数が多いだけに限界もあります。行政頼りになることなく自助努力が最も大切です。

### 高額療養費制度も限界に…

オプジーボに代表される免疫治療薬は1年間使用すると3,500万円、その大部分は保険財政で負担されます。今後、こうした薬が目白押しで国民皆保険制度の維持も危惧されます。このままでは若年層への将来負担とつげが心配されます。

### 大阪大学との連携に活路を！

豊中市では前述した問題も含め多くの困難に取り組んでいます。こうした問題は全国的にも心配されており国としても真剣に取り組まなくてはなりません。豊中市は大阪大学との間に平成19年「連携包括協定」を締結しており、地域社会への持続的な発展に資することを目的としています。

私は豊中市だけの努力では限界があるため、大阪大学との連携協力でこれらの問題を解決すべく積極的に関わり進めています。豊中市のデータ提供と大阪大学の豊富な知識と研究で協働し市民に還元しようというものです。今回、大阪大学、NPOと連携し、東町の方々から生の声を聞かせていただくことで、将来の安心や先進事例に役立てたいと考えています。

この催しや大阪大学との連携が市民の健康寿命延伸や認知症予防、保険財政の健全化に資する事を期待しています。(裏面)



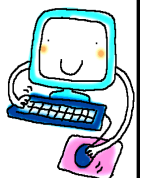
### 「無所属の会」議員団控え室

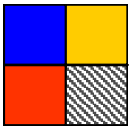
〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号  
TEL 6858-2620 (直通) FAX 6852-2384  
所属議員 福岡正輝 大町祐次 北之坊晋次  
神原宏一郎 松岡信道  
〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C24-403  
(福岡まさき 自宅) 06-6833-7705

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp  
福岡正輝 ホームページもごらんください

ヤフー、グーグルで「福岡まさき」  
で検索してお入りください。

会派の活動や政治信条、市政の裏話なども報告しています。





# 【福岡まさき】

## 活動日記

### 「千里さくら通り」の改善策

千里さくら通りは地域では有名な桜の名所として親しまれています。しかし、桜の木陰が絶好の休憩場所になるらしく大量の不法駐車が列をなす危険で見苦しい状況になっていました。市民からの苦情を受けた大阪府池田土木では紅白のブロックを道路端に設置し物理的に駐車できない状況で車の排除に取り組んできました。しかし、不法駐車はなくなったのですが、結果的に道路幅を狭くし美観上や衝突の危険から再びクレームが寄せられました。私自身が豊中市や池田土木に改善策と対策を要望した結果、道路の中央部分をゼブラゾーンにすることで決着しました。最善策とは言えませんが何とか不法駐車を防いでいます。一にも二にも運転手マナーの向上が大切です。

### 「千里竹の会」が国交大臣賞

15年前、荒れ放題で豊中市が手を焼いていた新千里東町公園(竹林)を何とか市民の手で維持管理できないものかと私がTさん(初代会長)に声掛けして産声を上げたのが「千里竹の会」。その後、吹田市側にも広がり現在の活動は竹林の維持管理(新千里東町公園、桃山公園、千里第7~8緑地)、竹細工教室(夢志クラブ)、竹炭・竹酢液の製造販売(北千里高校の協力)、大門松づくり(吹田市役所)など114名の会員が多方面で活動。

「千里竹の会」は、リタイヤ後の高齢者の地域デビューの場の提供や市民との協働をとおして豊中市、吹田市への貢献を評価され緑の都市賞市民協働部門で「国土交通大臣賞」を受賞しました。

「千里竹の会」への市民の皆様の応援と協力をよろしくお願いいたします。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「無所属の会」の一員として日々活動しています。

「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

### 「千里中央再整備」利用者の思いは

何度かに分けて行われている千里中央地区再整備事業は最後で最大の事業となる中央部分の事業着手が近づいてきました。

吹田市のエキスポシティや北急延伸(平成20年度完成予定)による萱野中央地区など強力な競争相手が出現してきます。これまでの交通利便性や競争相手が少なかったことなどから絶対的な強さを誇った千里中央地区もこれからは選ばれる商業地の一つとして競争にさらされることとなります。

北大阪地域の賑わいの中心地として新たな千里ブランド創出をめざし、再整備の対象となっているのは千里阪急百貨店、(旧)ピーコックストア、せんちゅうパル、セルシーなどでバスターミナルや駅前広場なども大きく変わる予定です。

今回、豊中市の主催で「みんなで考えよう！千里中央のまちづくり」と題してワークショップが開催されました。多くの方々が参加され千里中央の魅力アップや「あったらいいな」と思うライフシーンなど意見やアイデアが寄せられました。こうした催しを積極的に推進してきた私としては、市民の思いや願

いが実現し魅力と競争力ある商業地に変貌するよう協力したいと考えています。





# 「いろいろブログ」



## 「新田地域」のまちづくり

上新田地区の「まちづくり」には今迄にも様々かかわってきましたが、地元出身の中蔵議員引退後は後継指名を受ける形で取り組んでいます。伝統と文化を誇る旧村と新しいマンション群では地域社会に対する帰属意識や環境整備、「まちづくり」にも温度差があります。私の役割は新旧住民の融和と相乗的な効果を目に見える形で実現することです。

現在は開発案件に関する調整役や環境の整備、通学路の安全対策などの要望を受け取り組んでいます。環境整備については水路敷の清掃や除草、蚊の駆除を実施しました。尚、竹林での蚊の駆除については個人持ち分や地区財産では費用負担が生ずるため現在検討中です。

通学路の安全対策については横断歩道の新設や注意喚起の標識、カラー舗装や建設中のマンション業者への指導など市や警察と取り組んでいます。

## 防犯パトロールから見える課題

地域の安心安全システムはこれで安心と言えるものではありません。現在計画中の防犯カメラ設置(校区で30台)についてもハードの強化だけで抑止力が完璧になるわけでもありません。

地元地域防犯ではかねてからソフト部門の強化から「挨拶声かけ運動」や見守り活動、安全パトロールの充実等にも取り組んできました。現在では夏・冬の大規模夜警のほかに、毎週の夜間パトロール(約10名)を継続していますが、声掛けに通行者の反応も増えてきました。

防犯はハイテク機器に頼るだけでなく人と人との連携や「自らが当事者」との認識強化に取り組んでいます。

## ・その他には…

- ※ 「カメさん」元気で!
- ※ 南部コラボ 建設説明会
- ※ 専門家から意見拝受
- ※ 教育委員会の奮起に期待
- ※ 地域防犯総会で新しい体制に

## 山田洋次さんが名誉市民に

市は豊中市出身で「男はつらいよ」などの作品で知られる映画監督、山田洋次さんに「文化、芸術面で顕著な功績があった」として名誉市民称号を贈ることを提案し議会で承認されました。市制80周年記念式典に合わせ、10月15日に市立文化芸術センターで山田さんに記念メダルが贈られます。



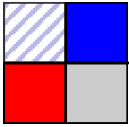
名誉市民はノーベル物理学賞を受賞した物理学者の南部洋一郎さんに続き二人目となります。

また、市立岡町図書館に山田さんの全作品のDVDを集めた記念ライブラリーを開設することも決定されました。

ところで教育文化都市を標榜し都市経営の根幹に据える豊中市は公民分館活動など社会教育分野においては全国的にも高い評価を受けています。しかし、公教育分野においては二極分化が進み南北格差が顕著になっておりその是正が求められます。一部の間違った平等教育や文化伝統を否定的に捉えたり過度の体制批判からは本物の教育文化都市は実現しません。

子供たちの個性や能力を伸ばし、人や国を愛する心を育てることで「名誉市民続出」につながる真の教育文化都市実現にこれからも取り組んでまいります。





# 南部庄内地域の学校再編と活性化

## ❖ 計画案の概要について

豊中市教育委員会が提案した「南部地域の学校再編成」については、豊中市の都市経営を左右する最重要課題だと考えています。この問題は南部庄内地域にある6小学校、3中学校の統廃合を含む再編成で、このエリアに二つの小中一貫校を作るものです。教育委員会が示した二つの構想案では、千成小学校の敷地に一校、庄内小学校の敷地に一校、さらに地域活性化のシンボリック施設として(仮称)南部コラボセンターを第六中学校に建設します。二つの構想案の違いは同一施設内での一貫校と低学年(小1～4年)、高学年(小5～中3)での施設分離型の違いです。どちらの構想案に決定しても、統廃合等により7.2から10.8%、実に甲子園球場全体敷地面積の2～3倍の余剰地が出現します。

この問題は単に豊中市南部の公教育の学校配置や再生の問題だけにとどまらず、将来の豊中市の在り方や都市経営の問題でもあります。

今後については地域住民や専門家の意見を募るとともに、議会での十二分な議論が必要です。この施策を成功させ、後世の方々からあの時代に実施した「南部地域の学校再編と活性化」が今日の豊中市隆盛の基を作ったと評価される実績が議員にも求められます。

## ❖ 初めて挑戦する小中一貫校

学習指導面や生活指導面において庄内地域の実情に応じた取り組みを実施します。また、小学校高学年の教科担任制や中学校への環境変化に伴う学習面の戸惑いの軽減、生徒指導上の課題の未然防止や早期対応が可能。いずれにしても家庭や学校現場、教育委員会の連携が重要です。

## ❖ 余剰地をどう生かすのか

豊中市独自では限界のある問題で、外部コンサルや専門事業者のアイデアや協力が必要です。まずは最高の提案と実現可能なシステムづくりが大切です。

## ❖ 地域の活性化にどう取り組む

(仮称)南部コラボセンターの役割は重要です。千里コラボを徹底的に研究し最良のものを建設(運営を含む)することで南部地域の魅力と活性化に取り組むことが大切です。

また、学校統廃合による校区単位の各種活動団体の位置づけや連携体制が重要です。その際、組織間の縦割りを排除した地域力をつけることが重要。そのためにも地域自治組織への取り組みを積極的に進めて頂きたい。

## ・・ 言いたい放題

アジア某国元大統領がクリントン米大統領と会談した時に英語で「ハウ・アー・ユー(ご機嫌いかが)」と挨拶するはずが、「フー・アー・ユー(あんた、だれ)」とやってしまった。苦笑いした大統領は、ユーモアを交えて「ヒラリーの夫です」とかわした。すると自分の間違いに気づかない元大統領は、事前に教えられた通りに、「ミー・ツー(私も)」と答えた英語ベタ政治家の逸話だ。

これは実際にあった話だと言われているがマスコミによる悪意に満ちたねつ造後日談のほうが有名だ。当時の我が国の総理は国民や

マスコミに人気がなく、開催した沖縄サミット期間中も失言はゼロで期待していた一部マスコミが、わが国首相に置き換えて噂を広め各社が飛びつき事実にしてしまった。噂のねつ造はM新聞のT記者で後日になって名乗り出ている。

新聞社といえば、発行部数の水増しに公取委がA新聞(だけではない)への調査に入った。現実には配達もされない新聞が大量に印刷され販売所に届けられる。広告主や折り込み広告依頼者にとって発行部数が料金設定の根拠だけに詐欺商法?ともいえる。事実を歪め首相や国を貶める行為とともに、儲けるためには平気で部数を偽り国民を欺く企業体質に未来はない。新聞が好きな私にとってはさみしい限りだ。